

SEQNo.	Q3. 関与の端緒について [その他の内容]
138	学校から被災地よりの転入児童があり、必要があれば相談に行く旨の連絡があった。
036	虐待通告を受理した当県他児相からのケース移管
188	近隣からの通告。市からの通告。
037	親族からの情報提供
187	庁内の関係機関からの情報提供
148	被災地から当該児相所管内に避難する前に避難していた地域を所管する児童相談所からの情報提供ケース、同じルートの移管ケース
149	避難所からの通告
120	本県の単独事業である被災児童を受け入れるボランティア家庭事業として受け入れた。児童福祉法第30条の(同居児童の届出)を適用し、児童福祉司指導として支援している。

SEQNo.	Q4. 関与の内容について [その他の内容]
146	(1例目)関係機関と協力し母子の見守りと保健指導を実施。(2例目)児童(多人数の)に対するネグレクトの疑いで、警察から身柄通告。一時保護後第○子から第○子までは家庭引取りと同時に児童福祉司指導。第○子については乳児院入所。
046	一時保護
183	一時保護、里親委託(親子関係不良) 被災地において震災以前から関わっていたケース
056	一時保護委託
110	一時保護中 施設入所方向に検討中
176	県内在住の伯父夫婦が親族里親の認定を受け、里親委託とした。
145	施設入所の方向で調整をしたが、最終的には、援助に結びつかなかった。
166	肢体不自由児入所施設利用
008	社会調査
026	重度心身障害児施設への入所(契約)について
028	心理判定、医学判定・診断
185	親族里親
041	親族里親に認定し里子委託
171	親族里親の申請
033	親族里親委託1件、知的障害児施設措置入所1件
052	親族里親認定調査・支援
148	調査中
157	発達検査
069	父方祖父母による親族里親申請の相談を受けて、調査・認定。現在、里親委託中。
150	保護者の一時帰宅に伴う児童の一時保護
093	母出産に伴う児童の一時保護
071	里親委託
097	里親委託
149	里親委託
011	療育手帳交付のための発達検査、一時保護の準備(実施せず)
070	療育手帳判定

SEQNo.	Q5. 避難児童はあるが関与がない場合の理由〔その他の内容〕
138	学校から相談の連絡がなかった為。
083	教育委員会が避難児童の対応を気にかけていた時期があったが、受け入れてみると大きな問題はなかったようである。
068	結果として関与はなかったが、避難所への広報や避難所にかかわりのあるボランティア団体等と連携を密にし、ニーズが生じた場合に迅速に対応できるように体制を構築した。
115	市町村が第一の相談窓口となっており、現在のところ児童相談所の関与が必要なケースはない
050	震災対応電話相談窓口を設けたが避難児童(含家族)からの相談はなかった。

## 資 料

### 児童相談所アンケート調査協力依頼文

全国児童相談所長会事務局から送信（2012/03/01）

各児童相談所長殿

いつもお世話になっております。

平成22年7月21日の全児相総会でご承認いただきました、  
厚生労働省科学研究補助事業について、  
別添のとおりご依頼します。

年末の多忙な時期に大変恐縮ですが、  
調査へのご協力方、何卒よろしくお願い申し上げます。

提出期限：3月10日（土）

提出時の注意事項

- ① 調査票はA、B、Cの3種類あります。3種類ともご提出ください。
- ② 該当事例がない場合も、①自治体名、②児相名、③担当者名、該当事例の有無の4点に入力の上、3種類ともご提出ください。
- ③ 提出先は集計業者になります。提出先のアドレスは、次のとおりです。  
提出先メールアドレス saigai@across-net.co.jp
- ④ 調査票のファイル名は、絶対に変更しないでください。  
※ 集計業者は、お送りしたのと同じファイル名を、自動的に識別するシステムを使用しています。  
ファイル名を変更すると、調査票を自動識別できなくなります。

# 厚生労働科学研究 「災害時における児童福祉職員の 派遣システム及び児相福祉活動に関する研究」

～東日本大震災への取り組みを踏まえた児童相談所職員の活動についての研究～

## A. 被災地側用調査

2012年3月

特別研究 主任研究者 才村 純

お忙しいところ大変お手数ですが、2012年3月10日(土)までにご返送をお願いいたします。

### 貴児童相談所について 【文字回答】

①自治体名	
②児童相談所名	
③ご記入担当者氏名	

### ◎本アンケート調査について

本調査に関する該当事例は、ありますか。【1つだけ回答】

- 1. 該当事例がある → 以下のアンケートにご協力をお願いいたします
- 2. 該当事例はない → 以上でアンケートは終了です。保存した上、メールにてご返信ください。

### 1. 被災の内容について

#### Q1. 人的被害 【いくつでも回答】

- |                                            |   |                                |                                    |
|--------------------------------------------|---|--------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 重度（死亡、行方不明者あり） | → | 被害にあった方は                       |                                    |
| <input type="checkbox"/> 2. 中度（重傷のけが）      | → | <input type="checkbox"/> 1. 職員 | <input type="checkbox"/> 2. 一時保護児童 |
| <input type="checkbox"/> 3. 軽度（軽傷のけが、避難等）  | → | <input type="checkbox"/> 1. 職員 | <input type="checkbox"/> 2. 一時保護児童 |
| <input type="checkbox"/> 4. 職員の家族が死亡・行方不明  |   | <input type="checkbox"/> 1. 職員 | <input type="checkbox"/> 2. 一時保護児童 |
| <input type="checkbox"/> 5. なし             |   |                                |                                    |

#### Q2. 物的被害 【1つだけ回答】

- |                                            |                                     |
|--------------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="radio"/> 1. 重度（全壊・喪失、ほぼ全壊・喪失） | <input type="radio"/> 2. 中度（半壊・半喪失） |
| <input type="radio"/> 3. 軽度（損害はあるが使用は可能）   | <input type="radio"/> 4. なし         |

#### Q3. 金銭的被害 【1つだけ回答】

- |                                              |                                     |
|----------------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="radio"/> 1. 高額（建て替えや移転等予算要求が必要） | <input type="radio"/> 2. 新たな予算措置は不要 |
| <input type="radio"/> 3. 軽微（所内で対応）           | <input type="radio"/> 4. なし         |

Q4. 機能的被害 [1つだけ回答]

- 1. 重度（機能喪失、ほぼ喪失）  
 ○ 2. 中度（かなりの機能は失われたが相談、措置等の基本的機能は維持できている）  
 ○ 3. 軽度（ほぼ喪失なし） ○ 4. なし

2. 相談の状況について

平成22年度、23年度について、厚生省労働報告に該当する統計がない場合、該当箇所に「なし」と入力してください。

Q5. 平成22年度相談受付 [数値回答]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
①養護相談受付件数													
②うち虐待相談件数 計													
A. 身体的虐待													
B. 性的虐待													
C. ネグレクト													
D. 心理的虐待													

Q6. 平成23年度相談受付 [数値回答]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
①養護相談受付件数													
②うち虐待相談件数 計													
A. 身体的虐待													
B. 性的虐待													
C. ネグレクト													
D. 心理的虐待													

3. 支援の要請について

支援とは府県間での児童相談所間での職員派遣についてを言います。

Q7. 支援を要請しましたか [1つだけ回答]

- 1. 支援を要請した ○ 2. 支援を要請しなかった → Q13へ

Q7で「1. 支援を要請した」を選んだ方にお聞きします。

Q8. いつ支援を要請しましたか [数値回答]

月  日

Q7で「1. 支援を要請した」を選んだ方にお聞きします。

Q9. 支援を要請した後、実際に支援があったのは何日ですか [数値回答]

月  日

Q7で「1. 支援を要請した」を選んだ方にお聞きします。

Q10. どこに要請しましたか [いくつでも回答]

1. 県             2. 国             3. 近隣児相             4. 近隣の公共機関  
 5. 近隣の民間機関             6. その他

Q7で「1. 支援を要請した」を選んだ方にお聞きします。

Q11. 支援要請の端緒は [いくつでも回答]

※〇〇警察等の機関名を入力してください

1. 県等による被災調査             2. 支援要請するように指示あり   
 3. 児童相談所が自主的に  
 4. その他

Q7で「1. 支援を要請した」を選んだ方にお聞きします。

Q12. 支援要請の内容 [いくつでも回答]

1. 全面的代替             2. 移転             3. 人手不足のための人員派遣  
 4. 業務超過のための人員派遣             5. 被災対応等業務超過のための人員派遣  
 6. その他

Q7で「2. 支援を要請しなかった」を選んだ方にお聞きします。

Q13. 支援を要請しなかった理由 [いくつでも回答]

1. 機能喪失のため             2. 緊急対応に忙しかった             3. 失念していた  
 4. どうしていいかわからず             5. 通信途絶のため             6. 機能が維持できていたため  
 7. 支援要請以前に支援の申し出があった  
 8. その他

#### 4-1. 実際の支援の状況/受け入れについて

Q14. 対外的な事前調整について、担当者は決まっていたか。 [1つだけ回答]

※役職名を入力してください

1. 決まっていた              
 2. 決まっていなかった

Q13で「2. 決まっていなかった」を選んだ方にお聞きします。

Q15. 担当者が決まっていなかった理由 [いくつでも回答]

1. 臨機応変にやれる人がやっていた  2. 人員を割けなかった  
 3. 適当な人がいなかった  4. その他

Q16. 受け入れについての対外的な調整をしましたか。 [1つだけ回答]

1. 調整をした  2. 調整をしなかった →

Q16で「1. 調整をした」を選んだ方にお聞きします。

Q17. 調整をした相手は誰ですか。 [いくつでも回答]

1. 児童相談所主管課の担当者  2. 同一自治体の別の課（災害対策課等）の担当者  
 3. 中央児童相談所の担当者  4. 厚生労働省の担当者  
 5. 別の自治体の職員  6. その他

●調整をした相手の方の所属・役職について、お聞きします。

所属名

役職名

Q16で「1. 調整をした」を選んだ方にお聞きします。

Q18. 調整をした内容について [いくつでも回答]

1. 支援内容  2. 支援期間  3. 人数  4. 職種  
 5. その他

Q16で「1. 調整をした」を選んだ方にお聞きします。

Q19. 調整は適切に行われましたか。 [1つだけ回答]

1. 適切に行われた  2. 適切に行われなかった

Q16で「1. 調整をした」を選んだ方にお聞きします。

Q20. Q19のどういう点が適切または、不適切でしたか。具体的にご回答ください。  
[文字回答]

Q16で「1. 調整をした」を選んだ方にお聞きします。

Q21. 調整についての課題はありましたか。 [1つだけ回答]

1. 課題があった  2. 課題はなかった

Q21で「1. 課題があった」を選んだ方にお聞きします。

Q22. 課題のあった内容について具体的にご回答ください。〔文字回答〕

--

Q16で「2. 調整をしなかった」を選んだ方にお聞きします。

Q23. 調整をしなかった理由は何ですか。〔いくつでも回答〕

1. 双方とも時間がなかった                       2. 調整の必要がなかった
3. その他

#### 4-2. 実際の支援の状況／受け入れた支援者について

Q24. 児童相談所について 〔文字回答〕

※複数の児相を受け入れた場合、すべて記入してください。

児童相談所名	
--------	--

Q25. 受け入れ人数について 〔数値回答〕

①実人数		人	②延べ人数		人
------	--	---	-------	--	---

Q26. 職員の職種について 〔いくつでも回答〕

1. 児童福祉司             2. 児童心理司             3. 医師             4. 保健師
5. 保育士                 6. 児童指導員             7. 事務職
8. その他

Q27. 派遣の期間について 〔数値回答〕

①派遣日数 



 日間

②継続中の場合 



 年 



 月 



 日から 



 カ月間 派遣

Q28. 要請した職種、人数、派遣期間について 〔各1つだけ回答〕

①要請職種	<input type="radio"/> 1. ほぼ児童相談所の希望通り	<input type="radio"/> 2. 児童相談所の希望はあまり考慮されなかった
②人数	<input type="radio"/> 1. ほぼ児童相談所の希望通り	<input type="radio"/> 2. 児童相談所の希望はあまり考慮されなかった
③派遣期間	<input type="radio"/> 1. ほぼ児童相談所の希望通り	<input type="radio"/> 2. 児童相談所の希望はあまり考慮されなかった

Q29. 要請した職種と業務内容について 【1つだけ回答】

- 1. 要請した職種と業務内容、時期等は概ね適切であった
- 2. 職種、業務内容等が児童相談所職員として適切なものとは言えない場合もあった

Q30. Q29のどういう点が適切または、不適切でしたか。具体的にご回答ください。  
【文字回答】

### 4-3. 実際の支援の状況／支援の内容について

Q31. 支援の内容について 【いくつでも回答】

- |                                                          |                                                                          |
|----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. インケア児童への対応                   | <input type="checkbox"/> 2. 新たな社会的養護の必要な児童への対応                           |
| <input type="checkbox"/> 3. 児童福祉に関する業務（1～2.以外）           | <input type="checkbox"/> 4. 被災側児相職員の補助                                   |
| <input type="checkbox"/> 5. 被災状況の確認                      | <input type="checkbox"/> 6. 派遣元府県や被災県との連絡・調整                             |
| <input type="checkbox"/> 7. 住民の相談支援                      | <input type="checkbox"/> 8. 物資の運搬・配布                                     |
| <input type="checkbox"/> 9. 託児・保育の補助                     | <input type="checkbox"/> 10. 一時保護児童への対応（補助業務を含む）                         |
| <input type="checkbox"/> 11. 心理的ケアの対応（補助業務を含む）           | <input type="checkbox"/> 12. ケース児童（在宅）の安否確認                              |
| <input type="checkbox"/> 13. ケース児童（施設入所児童）の安否確認・施設との連絡調整 |                                                                          |
| <input type="checkbox"/> 14. 震災遺児孤児の調査・把握                | <input type="checkbox"/> 15. 何らかのケアが必要な児童の調査・把握                          |
| <input type="checkbox"/> 16. 避難所等への巡回相談（11～13.以外）        | <input type="checkbox"/> 17. 児童福祉に関する情報収集                                |
| <input type="checkbox"/> 18. その他                         | <div style="border: 1px solid black; width: 500px; height: 20px;"></div> |

Q32. 支援の内容は要請した内容と合致していましたか。【1つだけ回答】

- |                                       |                                        |
|---------------------------------------|----------------------------------------|
| <input type="radio"/> 1. 合致していた       | <input type="radio"/> 2. まあ合致していた      |
| <input type="radio"/> 3. あまり合致していなかった | <input type="radio"/> 4. まったく合致していなかった |

Q32で「3. あまり合致していなかった」「4. まったく合致していなかった」を選んだ方にお聞きます。

Q33. 支援の内容が要請した内容と合致していなかったことについて、具体的にご回答ください。  
【文字回答】

#### 4-4. 実際の支援の状況／支援の方法について

##### Q34. 支援の場所について 【いくつでも回答】

1. 児童相談所       2. 一時保護所       3. 児童福祉施設       4. 避難所  
 5. 住民宅       6. その他

##### Q35. 支援の内容について（複数回、複数職員について受け入れ、内容が異なる場合は、主なケースを3つまで「ケース①～③」にご回答ください）

#### ケース①

##### 1. 支援内容（業務）の割り当てについて 【1つだけ回答】

1. 被災児童相談所の職員と組む業務を中心に割り当て（例：2人1組で避難所を巡回など）  
 2. 単独で行う業務を中心に割り当て

##### 2. 主な担当業務の分量（被災児童相談所の同一職種の職員と比較した場合）【1つだけ回答】

1. ほぼ同等の質・量  
 2. 量はほぼ同等、質は軽減（困難ケースは外す、宿直やローテには入れないなど）  
 3. 被災児童相談所の職員（主担当）の一部業務を分担  
 4. 主担当業務はない（電話の取り次ぎ、資料作成、単純事務作業など、被災児童相談所職員の補助的業務）  
 5. その他

##### 3. 支援業務の種類について 【いくつでも回答】

1. 福祉系のソーシャルワーク（保護者対応、面接・相談、苦情電話対応を含む）  
 2. 心理系のソーシャルワーク（保護者対応、面接・相談、苦情電話対応を含む）  
 3. 面談を伴わない相談業務  
 4. 児童相談所内でのケース児童への対応、託児、保育（一時保護所を除く）  
 5. 一時保護所での児童対応、健康管理等  
 6. 児童、保護者の安否確認  
 7. 情報収集、関係機関との連絡調整（電話やメールを含む）（6.以外）  
 8. 事務作業（児童相談所の業務やソーシャルワーク、一時保護に関する事務）  
 9. 事務作業（児童相談所の根幹業務に関係しない事務（庶務、電話取り次ぎ、書類整理等）  
 10. 避難所、在宅、学校などへの巡回相談（児童相談所の業務に関する巡回相談）  
 11. 託児・保育（児童相談所が関与していない一般被災児童）  
 12. 避難所の整理、支援  
 13. その他

ケース② ※複数回、複数職員について受け入れ、内容が異なる場合のみ

1. 支援内容（業務）の割り当てについて 【1つだけ回答】

- 1. 被災児童相談所の職員と組む業務を中心に割り当て（例：2人1組で避難所を巡回など）
- 2. 単独で行う業務を中心に割り当て

2. 主な担当業務の分量（被災児童相談所の同一職種の職員と比較した場合）【1つだけ回答】

- 1. ほぼ同等の質・量
- 2. 量はほぼ同等、質は軽減（困難ケースは外す、宿直やローテには入れないなど）
- 3. 被災児童相談所の職員（主担当）の一部業務を分担
- 4. 主担当業務はない（電話の取り次ぎ、資料作成、単純事務作業など、被災児童相談所職員の補助的業務）
- 5. その他

3. 支援業務の種類について 【いくつでも回答】

- 1. 福祉系のソーシャルワーク（保護者対応、面接・相談、苦情電話対応を含む）
- 2. 心理系のソーシャルワーク（保護者対応、面接・相談、苦情電話対応を含む）
- 3. 面談を伴わない相談業務
- 4. 児童相談所内でのケース児童への対応、託児、保育（一時保護所を除く）
- 5. 一時保護所での児童対応、健康管理等
- 6. 児童、保護者の安否確認
- 7. 情報収集、関係機関との連絡調整（電話やメールを含む）（6.以外）
- 8. 事務作業（児童相談所の業務やソーシャルワーク、一時保護に関する事務）
- 9. 事務作業（児童相談所の根幹業務に関係しない事務（庶務、電話取り次ぎ、書類整理等）
- 10. 避難所、在宅、学校などへの巡回相談（児童相談所の業務に関する巡回相談）
- 11. 託児・保育（児童相談所が関与していない一般被災児童）
- 12. 避難所の整理、支援
- 13. その他

ケース③ ※複数回、複数職員について受け入れ、内容が異なる場合のみ

1. 支援内容（業務）の割り当てについて 【1つだけ回答】

- 1. 被災児童相談所の職員と組む業務を中心に割り当て（例：2人1組で避難所を巡回など）
- 2. 単独で行う業務を中心に割り当て

2. 主な担当業務の分量（被災児童相談所の同一職種の職員と比較した場合）【1つだけ回答】

- 1. ほぼ同等の質・量
- 2. 量はほぼ同等、質は軽減（困難ケースは外す、宿直やローテには入れないなど）
- 3. 被災児童相談所の職員（主担当）の一部業務を分担
- 4. 主担当業務はない（電話の取り次ぎ、資料作成、単純事務作業など、被災児童相談所職員の補助的業務）
- 5. その他

3. 支援業務の種類について 【いくつでも回答】

- 1. 福祉系のソーシャルワーク（保護者対応、面接・相談、苦情電話対応を含む）
- 2. 心理系のソーシャルワーク（保護者対応、面接・相談、苦情電話対応を含む）
- 3. 面談を伴わない相談業務
- 4. 児童相談所内でのケース児童への対応、託児、保育（一時保護所を除く）
- 5. 一時保護所での児童対応、健康管理等
- 6. 児童、保護者の安否確認
- 7. 情報収集、関係機関との連絡調整（電話やメールを含む）（6. 以外）
- 8. 事務作業（児童相談所の業務やソーシャルワーク、一時保護に関する事務）
- 9. 事務作業（児童相談所の根幹業務に関係しない事務（庶務、電話取り次ぎ、書類整理等）
- 10. 避難所、在宅、学校などへの巡回相談（児童相談所の業務に関する巡回相談）
- 11. 託児・保育（児童相談所が関与していない一般被災児童）
- 12. 避難所の整理、支援
- 13. その他

## 4-5. 実際の支援の状況／支援の成果と課題について

Q36. 支援の成果について 【1つだけ回答】

1. 成果があった                       2. 少し成果があった  
 3. 成果はあまりなかった               4. 成果がなかった

Q37. 支援の成果について、具体的にご回答ください。【文字回答】

Q38. 支援の課題について 【1つだけ回答】

1. 課題があった                       2. 少し課題があった  
 3. あまり課題はなかった               4. 課題はなかった

Q38で「1. 課題があった」～「3. あまり課題はなかった」を選んだ方にお聞きします。

Q39. 支援の課題について、具体的にご回答ください。【文字回答】

Q40. 被災によって行うことになった業務外の業務のうち、児童相談所以外の機関が行った方が適切だったと思われる業務はありますか。【いくつでも回答】

<input type="checkbox"/> 1. 住民の安否確認	誰（どの機関）がするのが適切か	<div style="border: 1px solid black; height: 20px;"></div>
<input type="checkbox"/> 2. 住民台帳の作成、確認	誰（どの機関）がするのが適切か	<div style="border: 1px solid black; height: 20px;"></div>
<input type="checkbox"/> 3. 施設入所児童の安否確認	誰（どの機関）がするのが適切か	<div style="border: 1px solid black; height: 20px;"></div>
<input type="checkbox"/> 4. 児童の心理的不安の払拭	誰（どの機関）がするのが適切か	<div style="border: 1px solid black; height: 20px;"></div>
<input type="checkbox"/> 5. 保護者の心理的不安の払拭	誰（どの機関）がするのが適切か	<div style="border: 1px solid black; height: 20px;"></div>
<input type="checkbox"/> 6. 避難所のサポート	誰（どの機関）がするのが適切か	<div style="border: 1px solid black; height: 20px;"></div>
<input type="checkbox"/> 7. 避難所等への巡回相談	誰（どの機関）がするのが適切か	<div style="border: 1px solid black; height: 20px;"></div>
<input type="checkbox"/> 8. その他	<div style="border: 1px solid black; height: 30px;"></div>	

以上で質問は終了です。ご協力いただき誠にありがとうございました。

このファイルを「保存」していただき、返信宛メールアドレスに添付の上、ご返送をお願いいたします。

# 厚生労働科学研究「災害時における児童福祉職員の派遣システム及び児相福祉活動に関する研究」

～東日本大震災への取り組みを踏まえた児童相談所職員の活動についての研究～

## B. 支援側用調査

2012年3月

特別研究 主任研究者 才村 純

お忙しいところ大変お手数ですが、2012年3月10日(土)までにご返送をお願いいたします。

### 貴児童相談所について [文字回答]

①自治体名	
②児童相談所名	
③ご記入担当者氏名	

### ◎本アンケート調査について

本調査に関する該当事例は、ありますか。[1つだけ回答]

1. 該当事例がある → 以下のアンケートにご協力をお願いいたします
2. 該当事例はない → 以上でアンケートは終了です。保存した上、メールにてご返信ください。

### 1. 派遣した支援者について

#### Q1. 派遣した人数について [数値回答]

①実人数	<input type="text"/>	人	②延べ人数	<input type="text"/>	人
------	----------------------	---	-------	----------------------	---

#### Q2. 職員の職種について [いくつでも回答]

1. 児童福祉司       2. 児童心理司       3. 医師       4. 保健師
5. 保育士       6. 児童指導員       7. 事務職
8. その他

#### Q3. 派遣の期間について [数値回答]

①派遣日数  日間

②継続中の場合  年  月  日から  カ月間 派遣

## 2. インケア児童に対する支援について

Q4. インケア児童に対する支援について（複数回、複数職員について派遣し、内容が異なる場合は、主なケースを3つまで「ケース①～③」にご回答ください）

### ケース①

#### 1. 対象児童について 【いくつでも回答】

1. 一時保護       2. 委託一時保護       3. 里親委託       4. 乳児院
5. 児童養護施設       6. 情緒障害児短期治療施設       7. 児童自立支援施設
8. 児童自立援助事業       9. 知的障害児施設       10. 肢体不自由児施設
11. 重症心身障害児施設       12. 盲ろうあ児施設       13. 自閉症児施設
14. 母子生活支援施設       15. その他

#### 2. 支援内容（業務）の割り当てについて 【1つだけ回答】

1. 被災児童相談所の職員と組む業務を中心に割り当て（例：2人1組で避難所を巡回など）
2. 単独で行う業務を中心に割り当て

#### 3. 主な担当業務の分量（被災児童相談所の同一職種の職員と比較した場合） 【1つだけ回答】

1. ほぼ同等の質・量
2. 量はほぼ同等、質は軽減（困難ケースは外す、宿直やローテには入れないなど）
3. 被災児童相談所の職員（主担当）の一部業務を分担
4. 主担当業務はない（電話の取り次ぎ、資料作成、単純事務作業など、被災児童相談所職員の補助的業務）
5. その他

#### 4. 支援業務の種類について 【いくつでも回答】

- 1. 福祉系のソーシャルワーク（保護者対応、面接・相談、苦情電話対応を含む）
- 2. 心理系のソーシャルワーク（保護者対応、面接・相談、苦情電話対応を含む）
- 3. 面談を伴わない相談業務
- 4. 児童相談所内でのケース児童への対応、託児、保育（一時保護所を除く）
- 5. 一時保護所での児童対応、健康管理等
- 6. 児童、保護者の安否確認
- 7. 情報収集、関係機関との連絡調整（電話やメールを含む）（6.以外）
- 8. 事務作業（児童相談所の業務やソーシャルワーク、一時保護に関する事務）
- 9. 事務作業（児童相談所の根幹業務に関係しない事務（庶務、電話取り次ぎ、書類整理等）
- 10. 避難所、在宅、学校などへの巡回相談（児童相談所の業務に関する巡回相談）
- 11. 託児・保育（児童相談所が関与していない一般被災児童）
- 12. 避難所の整理、支援
- 13. その他

#### ケース② ※複数回、複数職員について派遣し、内容が異なる場合のみ

##### 1. 対象児童について 【いくつでも回答】

- 1. 一時保護
- 2. 委託一時保護
- 3. 里親委託
- 4. 乳児院
- 5. 児童養護施設
- 6. 情緒障害児短期治療施設
- 7. 児童自立支援施設
- 8. 児童自立援助事業
- 9. 知的障害児施設
- 10. 肢体不自由児施設
- 11. 重症心身障害児施設
- 12. 盲ろうあ児施設
- 13. 自閉症児施設
- 14. 母子生活支援施設
- 15. その他

##### 2. 支援内容（業務）の割り当てについて 【1つだけ回答】

- 1. 被災児童相談所の職員と組む業務を中心に割り当て（例：2人1組で避難所を巡回など）
- 2. 単独で行う業務を中心に割り当て

##### 3. 主な担当業務の分量（被災児童相談所の同一職種の職員と比較した場合） 【1つだけ回答】

- 1. ほぼ同等の質・量
- 2. 量はほぼ同等、質は軽減（困難ケースは外す、宿直やローテには入れないなど）
- 3. 被災児童相談所の職員（主担当）の一部業務を分担
- 4. 主担当業務はない（電話の取り次ぎ、資料作成、単純事務作業など、被災児童相談所職員の補助的業務）
- 5. その他

#### 4. 支援業務の種類について [いくつでも回答]

- 1. 福祉系のソーシャルワーク（保護者対応、面接・相談、苦情電話対応を含む）
- 2. 心理系のソーシャルワーク（保護者対応、面接・相談、苦情電話対応を含む）
- 3. 面談を伴わない相談業務
- 4. 児童相談所内でのケース児童への対応、託児、保育（一時保護所を除く）
- 5. 一時保護所での児童対応、健康管理等
- 6. 児童、保護者の安否確認
- 7. 情報収集、関係機関との連絡調整（電話やメールを含む）（6.以外）
- 8. 事務作業（児童相談所の業務やソーシャルワーク、一時保護に関する事務）
- 9. 事務作業（児童相談所の根幹業務に関係しない事務（庶務、電話取り次ぎ、書類整理等）
- 10. 避難所、在宅、学校などへの巡回相談（児童相談所の業務に関する巡回相談）
- 11. 託児・保育（児童相談所が関与していない一般被災児童）
- 12. 避難所の整理、支援
- 13. その他

#### ケース③ ※複数回、複数職員について派遣し、内容が異なる場合のみ

##### 1. 対象児童について [いくつでも回答]

- 1. 一時保護
- 2. 委託一時保護
- 3. 里親委託
- 4. 乳児院
- 5. 児童養護施設
- 6. 情緒障害児短期治療施設
- 7. 児童自立支援施設
- 8. 児童自立援助事業
- 9. 知的障害児施設
- 10. 肢体不自由児施設
- 11. 重症心身障害児施設
- 12. 盲ろうあ児施設
- 13. 自閉症児施設
- 14. 母子生活支援施設
- 15. その他

##### 2. 支援内容（業務）の割り当てについて [1つだけ回答]

- 1. 被災児童相談所の職員と組む業務を中心に割り当て（例：2人1組で避難所を巡回など）
- 2. 単独で行う業務を中心に割り当て

##### 3. 主な担当業務の分量（被災児童相談所の同一職種の職員と比較した場合） [1つだけ回答]

- 1. ほぼ同等の質・量
- 2. 量はほぼ同等、質は軽減（困難ケースは外す、宿直やローテには入れないなど）
- 3. 被災児童相談所の職員（主担当）の一部業務を分担
- 4. 主担当業務はない（電話の取り次ぎ、資料作成、単純事務作業など、被災児童相談所職員の補助的業務）
- 5. その他

#### 4. 支援業務の種類について 【いくつでも回答】

- 1. 福祉系のソーシャルワーク（保護者対応、面接・相談、苦情電話対応を含む）
- 2. 心理系のソーシャルワーク（保護者対応、面接・相談、苦情電話対応を含む）
- 3. 面談を伴わない相談業務
- 4. 児童相談所内でのケース児童への対応、託児、保育（一時保護所を除く）
- 5. 一時保護所での児童対応、健康管理等
- 6. 児童、保護者の安否確認
- 7. 情報収集、関係機関との連絡調整（電話やメールを含む）（6. 以外）
- 8. 事務作業（児童相談所の業務やソーシャルワーク、一時保護に関する事務）
- 9. 事務作業（児童相談所の根幹業務に関係しない事務（庶務、電話取り次ぎ、書類整理等）
- 10. 避難所、在宅、学校などへの巡回相談（児童相談所の業務に関する巡回相談）
- 11. 託児・保育（児童相談所が関与していない一般被災児童）
- 12. 避難所の整理、支援
- 13. その他

### 3. 被災による新規ケース児童に関する支援について

Q5. 被災によって新たに社会的養護が必要であると考えられる児童（新規ケース児童）に関する支援について（複数回、複数職員について派遣し、内容が異なる場合は、主なケースを3つまで「ケース①～③」にご回答ください）

#### ケース①

##### 1. 対象児童の把握（情報入手）の方法について 【いくつでも回答】

- 1. 電話や来所による相談
- 2. 関係機関等からの通告や送致
- 3. 避難所の巡回等
- 4. 市町村の巡回等
- 5. 教育庁への訪問
- 6. 学校への訪問
- 7. その他

##### 2. 対象児童のニーズ把握について 【いくつでも回答】

- 1. 児童、保護者等への面接
- 2. 児童、保護者等からの電話等
- 3. 他機関からの情報
- 4. その他

##### 3. 社会資源の把握や活用について 【いくつでも回答】

- 1. 提供されたリスト等
- 2. 児童相談所職員に聞いて
- 3. 自主的に開拓
- 4. その他

4. 従来システム（被災地で行われていた制度や手続きなど）との調整について  
〔1つだけ回答〕

1. 必要       2. やや必要       3. あまり必要なし       4. 必要なし

5. 支援の方法について 〔いくつでも回答〕

1. 主として支援側職員で実施       2. 主として被災側職員で実施  
 3. 共同で実施       4. その他

ケース② ※複数回、複数職員について派遣し、内容が異なる場合のみ

1. 対象児童の把握（情報入手）の方法について 〔いくつでも回答〕

1. 電話や来所による相談       2. 関係機関等からの通告や送致  
 3. 避難所の巡回等       4. 市町村の巡回等       5. 教育庁への訪問  
 6. 学校への訪問       7. その他

2. 対象児童のニーズ把握について 〔いくつでも回答〕

1. 児童、保護者等への面接       2. 児童、保護者等からの電話等  
 3. 他機関からの情報       4. その他

3. 社会資源の把握や活用について 〔いくつでも回答〕

1. 提供されたリスト等       2. 児童相談所職員に聞いて  
 3. 自主的に開拓       4. その他

4. 従来システム（被災地で行われていた制度や手続きなど）との調整について  
〔1つだけ回答〕

1. 必要       2. やや必要       3. あまり必要なし       4. 必要なし

5. 支援の方法について 〔いくつでも回答〕

1. 主として支援側職員で実施       2. 主として被災側職員で実施  
 3. 共同で実施       4. その他